



巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 佐藤 洋

めたばる

発行

令和7年6月
陸上自衛隊
目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



X



駐屯地桜一般開放

駐屯地は、令和7年3月29日(土)、桜の一般開放を行いました。天気恵まれ、県内外から約2600名の方々が駐屯地を訪れて、装備品展示、子ども広場、模擬売店及び足湯コーナーなどで楽しんでいただきました。特に、イートインスペースでは、多くの方が周りに咲いている桜を見ながら食事をされ、満喫されていました。



5月駐屯地朝礼にて

初夏の訪れを感じる風に青葉が薫り、過ごしやすい季節となりました。

目達原駐屯地は、5月18日に創立71周年記念行事を開催し、多くの方が来駐して、行事を楽しんでいただいたことと思います。これもひとえに防衛協会、駐屯地OB会をはじめとする駐屯地を応援してくださる方々のご尽力の賜物だと感じております。

さて、春の定期異動により多くの転入者が目達原駐屯地に着任し、新しい仲間として勤務することになりました。転入された皆さんがそれぞれの勤務地において培ってきた知識や技術、経験してきた良い取り組みなど、新風を吹き込むことにより駐屯地がますます活性化することを期待しています。

これからの季節は梅雨時期で大雨などによる災害発生が予想されます。駐屯地は、災害派遣出動の態勢を常に整えており、災害時には、迅速・確実に活動が実施できるように、日々教育訓練や各種業務に励み、高い練度を維持しています。

目達原駐屯地は、本年度も各種任務や訓練に励みつつ、各種行事や駐屯地への研修・訪問等を積極的に受け入れ、地域との連携の強化を図っていく所存でありますので、引き続き御理解、御協力の程よろしくお願い致します。



模擬売店



子ども広場(輪投げ)



装備品展示



イートインスペース



足湯コーナー



航空機装備品展示



記念式典(駐屯地司令式辞)



編隊飛行

駐屯地は、令和7年5月18日(日)、創立71周年記念行事を行いました。今回は「地域と共に」をテーマに掲げ、記念式典、編隊飛行、装備品展示、子ども広場、車両体験搭乗、航空機地上滑走、体験広場、ステージイベント及び模擬売店等を実施しました。特に、体験ツアーでは、主に見学をベースに駐屯地内を見学する大人バージョンと、主に体験することを子どもバージョンに分けて実施し、子ども参加者は、普段接することのない自衛隊の仕事の体験や施設見学などで楽しんでいました。当日は、約4,100名の方々が来場され、盛会の内に行事を終えました。



ステージイベント



体験広場(紙ヒコーキコンテスト)



暗視眼鏡体験



体験ツアー(管制塔見学)

目達原駐屯地創立71周年記念行事

◎JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

令和7年5月現在
約11,500人
フォロー中!

「フォロー」
「いいね」
「リポスト」
お願いします。

目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載!是非ご覧下さい。

「駐屯地X(旧ツイッター)
発信中!」

ホームページ



隊内生活体験



徒歩行進体験

駐屯地は、令和7年4月8日(火)から4月10日(木)(第1戦闘ヘリコプター隊担任)及び令和6年4月15日(火)から4月17日(木)(九州補給処補給部担任)の間、目達原駐屯地において、株式会社佐賀銀行、株式会社中山鉄工所、東亜工機株式会社、玄海町役場及び株式会社東和の新入社員に対して隊内生活体験を実施しました。自衛隊の規則正しい集団生活、基本教練、救急法及び徒歩行進等の体験を通じて、団体行動における節度ある動作や団結・規律・士気的重要性等について理解して頂きました。



救急法体験



基本教練体験(挙手の敬礼)



みんなで昼食



体力検定体験(腕立て伏せ)



九州補給処

九州補給処は、令和7年2月6日(木)、目達原駐屯地において、令和6年度持続走(軽武装)競技会を実施しました。本競技会は、昭和46年から毎年実施されている九州補給処の伝統競技で、各隊員は軽武装(鉄帽・水筒装着)で駐屯地内の3kmコースを激走し、その時間を各支隊の平均記録で競う団体の部と、個人の部で行われました。各隊員は、団体優勝を目標として、日々練成に励み、競技会に臨みまし。本年度は、雪が降る悪天候でしたが、富野弾薬支隊が優勝し、昨年度に引き続き2連覇を達成しました。



降雪の中を走る隊員達



優勝した富野弾薬支隊

令和6年度持続走(軽武装)競技会

佐賀県実動機関連連携訓練参加

九州補給処は、令和7年2月4日(火)、佐賀県大町町にある日本レスキュー協会モアワンにおいて、佐賀県政策部危機管理防災課が主催する佐賀県実動機関連連携訓練に参加しました。本訓練は、災害対処器材を使用した人命救助能力の向上を図るとともに、実動機相互の連携強化することを目的に、佐賀県内の警察や消防等17機関、約100名が参加し、土砂災害現場における災害救助犬による捜索及び人員の捜索・救助等を実施し、各機関相互の対応能力について理解を深めるとともに、災害発生時における円滑な相互連携を確立することができました。



災害救助犬による捜索



土砂に埋まった車両からの救助活動

西部方面後方支援隊

第12代西部方面後方支援隊長 川田1佐 着任！！



着任式



第12代隊長 川田1佐



着任式



幹部挨拶



記念撮影

西部方面後方支援隊は、令和7年3月17日、第12代西部方面後方支援隊長に着任した川田1佐の着任式を行いました。参列部隊指揮官 加藤1佐(副隊長)が指揮を執り、13個の隷下部隊長が目達原駐屯地体育館に参列する中、川田1佐は着任にあたり、「立志鍛錬」を要望事項に掲げました。その後、6月下旬までの間、目達原駐屯地所在部隊の初度視察を皮切りに、離島を含む17個の駐・分屯地に所在する隷下各部隊の初度視察を行います。西部方面後方支援隊は、これまでの歴史と伝統を継承しつつ、多様な任務に適切に対応し、川田1佐の統率の下、引き続き支援任務に邁進してまいります。

HTC 第1戦闘ヘリコプター隊 支援 アイアン・ファースト25



燃料補給に備えたホースの展張



由布岳を背景に野外駐機

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和7年1月31日(金)から2月18日(火)の間、訓練評価支援隊(HTC)が実施する実動対抗演習第4運営に航空統制要員を差し出し、職種部隊の主要行動の定量的・定性的な評価支援を実施する。通常、連隊等の諸職種協同に必要な練習向上に寄与しました。



塩害防止の為の機体洗浄



海兵機動展開部隊、水陸機動団との共同訓練

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和7年2月12日(水)から3月10日(月)の間、令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練(アイアン・ファースト25)に参加し、共同・統合による水陸両用戦における支援等演習の向上を図りました。

西部方面ヘリコプター隊

西部方面ヘリコプター隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、令和7年2月22日（土）、目達原駐屯地において、創隊57周年記念行事を実施しました。当日は天候にも恵まれ、体験搭乗や航空機展示等のイベントを行いました。

また、普段目に見えない隊員の出勤からの勤務風景や災害派遣の状況を作った指揮所及び格納庫等での活動状況をご家族の皆様に見ていただき好評を得るなど、部隊に対する理解の促進及び協力機運の醸成を図ることができました。

これまで西部方面ヘリコプター隊に対してご理解とご協力をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。引き続き、歴史と伝統を継承しつつ明るく前向きに任務完遂に努めてまいります。



体験搭乗



装備品展示



指揮所活動状況展示



ヘルメット装着体験

第4飛行隊

飛行隊家族の日



家族への部隊紹介



体験搭乗



家族との昼食



格闘展示



車両の体験試乗



家族でゲーム

第4飛行隊は、令和7年3月9日（日）、家族支援の一環として隊員家族を招待しご家族の皆様にご来場いただき、お話しを伺い、ご理解を頂くとともに、家族相互間の交流を深める「飛行隊家族の日」を実施しました。今年度は天候にも恵まれ、隊員家族約103名が来隊され、部隊の概要説明の後、格闘展示、体験搭乗、車両の体験試乗等を実施し、隊員の仕事を大感して頂きました。

第321基地通信中隊

令和6年度#2回障害対処訓練



連絡装置開設



連絡装置設定



予備回線接続



通話点検

第321基地通信中隊は、令和7年3月4日（火）から同月5日（水）及び令和7年3月11日（火）から同月12日（水）の4日間、目達原駐屯地、西地区駐屯地（相浦・大村・竹松）及び中地区駐屯地（久留米・小郡）において、令和6年度#2回障害対処訓練を実施されました。

この訓練は連絡装置の開設及びそれに伴う不具合等を把握して、安定した駐屯地通信基盤の構築を目的とし、中隊全体の練度向上を図りました。

第321基地通信中隊は、令和7年度の方面検査に向けて更なる練度向上を目標に引き続き演習するとともに平素における各種通信障害に対処できるように日々、技術向上に邁進してまいります。

西部方面管制気象隊

格闘及び救急法練成・検定実施

西部方面管制気象隊第1派遣隊は、令和7年1月から同年2月にかけて、格闘及び救急法の練成・検定を実施しました。

自ら考え、最良の行動を選択して実行できる隊員を育成するため、いくつもの場面を想定し、対処要領について演習を実施しました。

第1派遣隊は引き続き一丸となり、あらゆる任務に対応できるよう隊員個々の能力向上に邁進します。



格闘練成の様子



救急法練成の様子

令和6年度隊員クラブ等活性化施策成果表彰
令和6年度働き方改革取組コンテスト表彰

防衛省共済組合目達原支部は、令和7年3月10日（月）、健康駐屯地において、駐屯地隊員クラブの魅力化を図った功績として、西部方面統括支部長である西部方面総監から表彰されました。

また、九州補給処は、令和7年3月24日（月）、市ヶ谷駐屯地において、働き方改革によるワークライフバランスを推進するための創意工夫した功績が最優秀賞として認められ、防衛省女性職員活躍・ワークライフバランス推進本部長である防衛副大臣から表彰されました。



隊員クラブ等活性化施策成果表彰



働き方改革取組コンテスト表彰

西部方面システム通信群本部中隊映像写真小隊空中伝送班

NEXCO西日本との連携訓練

空中伝送班は、令和7年3月10日（月）にNEXCO西日本との連携訓練に西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊と共同で参加しました。訓練は南海トラフ地震想定における情報収集として実施されました。訓練開始後速やかに西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊と共に目達原駐屯地を離陸し、九州各地の高速道路の被害状況及び第8師団による緊急開口部の通過状況を撮影・放映しました。

今後も、即動待機態勢を維持し災害等が発生した際には速やかに被害地域の映像を撮影及び配信して、西部方面隊等の任務達成に寄与してまいります。



機内風景



ヘリ外観点検

令和7年度防衛・駐屯地モニター

駐屯地は、令和7年4月16日（水）、令和7年度防衛モニター及び駐屯地モニターの委嘱式を行いました。任期は防衛モニターが2年間、駐屯地モニターが1年間です。モニターの方々には、部隊見学や体験搭乗等の各種行事に参加して頂き、自衛隊に対する理解を深めてもらうとともに、貴重な意見を届けて頂きます。

防衛モニター



なかむら かずま 中村 一真 様
そのき だいすけ 園木 大輔 様
かじた あさつぐ 梶田 哲嗣 様
まつなが ひさと 松永 久人 様
(令和6年度から) (令和6年度から)

駐屯地モニター



のうとみ めいこ 納富 明子 様
まえだ みよこ 前田 美代子 様
たかやなぎ かずひろ 高柳 和宏 様
おかもと なおこ 岡本 尚子 様
ひらこば みき 平木場 美希 様

委嘱式での記念撮影



駐屯地らっぱ競技会



競技会風景

競技会風景



上位入賞の3名



判定！

駐屯地は、令和7年3月4日（火）、駐屯地体育館において、駐屯地らっぱ競技会を行いました。本競技会には、駐屯地各部隊等の中から特選された精鋭隊員たちが、トーナメント方式で吹奏技能を競うもので、参加した隊員たちは、緊張しつつも熱心に行き、会場を盛り上げました。結果は、西部方面後方支援隊第106全般支援大隊藤本3曹が優勝しました。

隊員趣味紹介



九州補給処総務部 2等陸尉 本村浩和

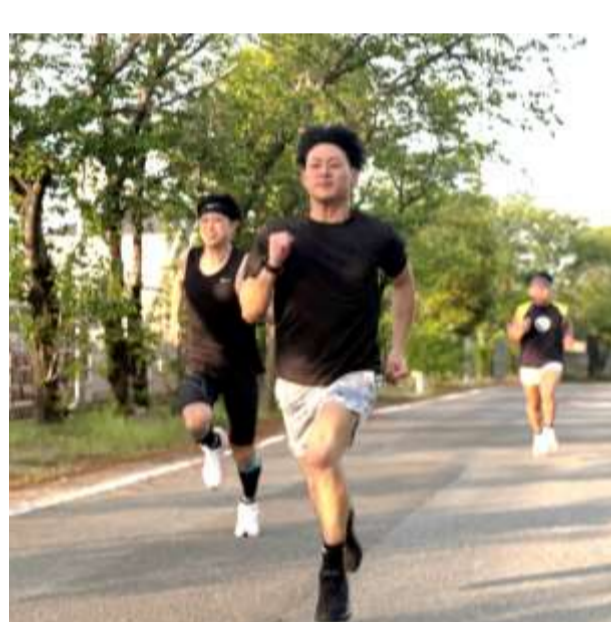
私の趣味はラーメン巡りです。私が去年（令和6年）の8月に目達原駐屯地へ転勤して以来、休みの日には佐賀県内のラーメン屋を訪れています。佐賀ラーメンは、久留米ラーメンから派生したもので、やや太めのストレート麺と、豚骨の旨味が凝縮された塩分・脂が控えめのスープが特徴です。また、生卵や佐賀のりのトッピングも定番です。佐賀県内の有名なラーメン屋では、開店前から多くのお客さんが並んでいたり、駐車場が閉店までずっと満車でなかなか駐車できないラーメン屋もあります。佐賀市内の繁華街にあるラーメン屋は夜しか営業していないお店もあります。私はこれらのクセのある佐賀ラーメンにハマってしまい、今度はこのラーメン屋に行こうかと日々悩んでいます。どこかお勧めのラーメン屋がありましたらご教授ください！

只今、前進中。 若人奮闘記



吉田力 (よしだ りき)

所属 西部方面ヘリコプター隊 本部付隊
階級 1等陸士
職種 航空科
役職 有線通信手兼器材係補佐
出身 神奈川県
趣味 買い物、音楽鑑賞



先頭を走る吉田1士

西ヘリ隊の将来有望な通信手！

「自衛官になったきっかけは何ですか？」
「公務員専門学校時代、すでに自衛官であった同級生に民間企業や一般の生活では味わえない事が体験でき、様々な人と関わると聞き私の成長につながると思い入隊しました。」
「自衛官として日頃から心がけていることはありますか？」
「悔いのない生き方をする事です。そのためには自分自身で決めたことを頑張り通すことだと思います。行動しない後悔よりも、たとえ失敗したとしても行動することを選び、経験を糧とし自身を高めるような心がけています。」
「普段の業務ではどのようなことをしていますか？」
「通信器材係の補佐として、通信器材の点検・手入れ等をやっています。」
「器材係補佐として気を付けていることはありますか？」
「何事もまず、考えてから行動すること。心がけています。無線機を運搬するにしても、器材を壊さずに運ぶにはどうすればいいかなどを考えます。これにより、観察力・洞察力が身につくと考えています。」

新着任部隊長及び主要幹部紹介



西部方面後方支援隊長 1等陸佐 川田 義一 (出身) 宮崎県 (職種) システム通信科



九州補給処鳥栖燃料支処長 2等陸佐 高橋 有典 (出身) 福岡県 (職種) 需品科



1等陸佐 加藤 武則 (出身) 大分県 (職種) 需品科



3等陸佐 園田 大將 (出身) 熊本県 (職種) システム通信科



2等陸佐 園田 直樹 (出身) 宮崎県 (職種) 会計科



2等陸佐 竹井 一寿 (出身) 福岡県 (職種) 需品科

兵站の実効性向上を図るとともに、地域との連携を大切にして、南西防衛の第一線目達原駐屯地の一員として最大限努力して参ります。九州補給処調達会計部長

定年退官者及び予定者
(令和7年3月17日付)
用意周到、不屈の精神をもって職務にまい進します。

Table with columns for date (年月日), name, rank, and name of the retiring officer.